

おぎ
だより

平成27年11月号

杉並区立井荻小学校

平成27年10月30日発行 No.568

「出す力」と「合わせる力」

校長 梅津 典子

10月には日本中にうれしいニュースが駆け巡りました。大村 智先生のノーベル医学生理学賞受賞、梶田隆章先生のノーベル物理学賞受賞と、ラグビーワールドカップでの大活躍です。どれも、自分のめあてを決めて、それに向かって努力したことの結果です。これらのニュースは、私達日本人に感動と喜びを与えてくれました。

先日終わった運動会でも、子どもたちの真剣にがんばる姿が感動や喜びを与えてくれました。たくさんの感想をいただきありがとうございました。私達教職員は、皆様の感想から元気をいただきました。その後も多くの行事が続いています。6年生の連合運動会出場、1・2年生の野川公園への生活科見学、3年生、5年生も社会科見学に行ってきました。また、3年に1回行われる音楽会のために、子どもたちは力いっぱい準備や練習を始めています。

さて、その力いっぱいの「力」には2つあると思います。

まず、一つ目は、「出す力」です。誰でも一人一人、自分なりの素晴らしい力をもっています。その力は見た目には見にくいのですが、毎日どんどん身につけていきます。自分もっている力をいろいろな場面で出してほしいと思います。

二つ目は、「合わせる力」です。みんなで力を合わせ、協力して生み出す力です。運動会では、団体競技や表現種目、係の仕事などで発揮してくれました。音楽会でも、声を合わせて合唱したり、調和のとれた合奏をしたりしてほしいと思います。

合わせる力を高めるためには、自分ばかりでなく他の人を見る、他の人の声・音を聞く、他の人の心を思いやるということが大切だと考えて

います。合わせるということは、他の人を知る、認めるということでもあるのです。二つの力「出す力」と「合わせる力」は、車の両輪のようなものです。一人一人ががんばって輝かないと全体の見栄えがよくありません。また、全体がまとまっていないと、一人一人が光りません。

ラグビーのワールドカップで日本チームが好成績をあげましたが、これも、選手個々の出す力と合わせる力のバランスが良かったからではないでしょうか？

この二つの力は、行事の時だけに必要なものではありません。日常の授業や学級での生活・活動にも当てはまるのです。学校では、「出す力」も「合わせる力」も重視しています。子どもたちがこの力を念頭において、日々の学校生活を送れるように、どちらの力も伸ばせるよう指導していきたいと思っています。



さまざまな食経験を

栄養士 峯岸 美野里

日本の郷土料理＊長野県編



お彼岸には手作りの“おはぎ”

和食を推進する一方で、世界各地の料理も給食に取り入れています。世界の食から、その国の風土・文化を知ってほしいという思いからです。2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。給食が、世界へと目を向けるきっかけになればと考えています。

「和食」がユネスコの世界無形文化遺産に登録され、学校においても「和食給食」を推進することが全国的に広がっています。井荻小でも手作りにこだわった和食献立のほか、年中行事に合わせた献立や、日本各地にある郷土料理を取り入れて「和食給食」に取り組んでいます。今、子どもたちに身につけてほしいことは、「本物の味を知る」ということ。削り節や昆布からとった“だし”のおいしさ、旬の食材の味わい。日本ならではの「和食」の素晴らしさを知り、将来は、次の世代に「和食」を伝える継承者になってほしいと願っています。

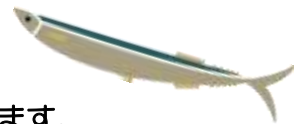
世界の料理＊ベトナム編



1～3年生では、グリーンピースやそら豆のさやむきをしました。その他、学校でとれた食材（びわ・きゅうり等）を給食に使用したり、都内・区内でとれた食材も積極的に取り入れています。



これからも魅力ある給食を作り、
楽しくおいしい食育に取り組んでいきます。



もうすぐ音楽会♪

音楽専科 高野 裕子

11月13日（金）、14日（土）に音楽会が開催されます。

今年のテーマは“心にひびけ！みんなのハーモニー”です。歌声や音の響きだけではなく、みんなの気持ちや思いも演奏する人、聴く人の心に響き合うように、という願いが込められています。子どもたちは今ちょっとびり不安だったり、ドキドキしたりしながらも多くの方に聴いてもらえることを楽しみにしています。

低学年は「一つ一つの音をていねいに」中学年は「力強さとやわらかさを感じて」高学年は「曲に込められたメッセージを伝えよう」をめあてに、曲の完成を目指しています。音楽会に向けての教師の願いや子どもの思いは『音楽会聴きどころ』（後日発行）、演奏曲目についてはプログラムにてお知らせいたします。

当日は生き生きと歌う姿や真剣なまなざしを、ぜひご覧ください。

読書旬間



学校図書館部 小竹 裕香

本校では、各学期に読書旬間を設けています。特に2学期は読書の秋、ということで図書館をより多く利用してもらえよう各活動にも力が入ります。今期は以下の活動を考え取り組んでいます。

① クイズラリー

井荻小学校には、図書館に行かなくても本が楽しめる場所が3か所あります。昇降口、ミニ図書コーナー、理科室です。そして図書館の4か所に図書委員が考えたクイズを貼り出します。このクイズはどれもお話を読まなくては解けないものばかり。各学年に応じて、おすすめの本や人気の本を選び出し、誰もが楽しめるようにクイズを考えました。

② 図書委員による読み聞かせ

2学期は「図書委員がおすすめする秋の本」の読み聞かせを全校集会で行います。1年生から6年生まで楽しんでもらえるようにと時間をかけて選書しました。体育館での読み聞かせのため、スクリーンに絵を映し出します。いつもと違った雰囲気を楽しめるのではないのでしょうか。全校で本に親しめる集会にしたいと思っています。

③ ブックランチ

10月26日（月）、11月2日（月）、11月5日（木）の3日間は、給食室にも協力していただき、給食時にブックランチと称してお話に出てくるおいしいものを献立にしました。図書委員はお昼の放送で、そのお話の読み聞かせを行います。本に登場する献立を食べることは特別なこと。お話の世界を楽しみながら、給食を楽しむ時間になるように、と計画しました。

④ 「きみが読むべきベストブック」

小学生のうちに読んでおきたい本を各学年15～30冊選び、リストにして配布しました。自分が「小学校時代にこれを読んだ。」と思える1冊を見つけ、読書を楽しむことができるようになってほしいと思います。これは、年間を通した活動です。

ぜひご家庭でも一緒に本を読んでみてください。

このような活動が円滑に行われているのも、図書ボランティアの方のお力添えがあるからこそです。いつも図書館は居心地よく、本棚も整理整頓されているおかげで本の貸出冊数も毎年増え続けています。こうした方々に感謝しながら、これからもたくさん本を読んでほしいと思っています。

11月行事予定

1	日	
2	月	委員会
3	火	文化の日
4	水	午前授業
5	木	音楽集会
6	金	読書旬間 終
7	土	囲碁 マナーキッズテニス
8	日	
9	月	クラブ・安全指導
10	火	
11	水	ふれあいタイム
12	木	音楽会前日準備
13	金	音楽会（児童鑑賞日）
14	土	音楽会（保護者鑑賞日）
15	日	
16	月	振替休業日
17	火	音楽会后片付け・避難訓練
18	水	ふれあいタイム
19	木	集会・就学時健診 午前授業
20	金	午前授業
21	土	震災救援所訓練 囲碁 チャレンジキッズ
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	社会科見学防災館4年生 秋探し1年生
25	水	区連合音楽会5年生 ふれあいタイム
26	木	井荻保育園授業参観1年生 荻中生による読み聞かせ 飼育委員会発表
27	金	小児生活習慣病健診4年生
28	土	お箏 生け花
29	日	
30	月	

～みんなの夢水路～

10月24日に行われた「みんなの夢水路」第1回ワークショップに本校6年生の有志が参加し、今までの取り組みの報告をしました。このワークショップの様子がJ:COM東京杉並テレビニュースで放映されます。放映日は11月15日（日）～11月28日（土）（予定）放映時間は9:05/12:05/20:05（15分番組）3分程度となっています。是非ご覧ください。

また区役所のホームページの動画コーナーでもご覧いただけます。

11月の生活目標

「言葉を大切にしよう」

生活指導部 中野 眞美

言葉には「力」があります。「うざい」「きもい」「きえろ」「むかつく」……。これらは心にグサリとささるトゲトゲした言葉で、人から言われたら悲しくなったり、深く傷ついたりします。反対に「ありがとう」「大丈夫?」「がんばったね」「上手だね」などは言われると、心がほんわか温かくなります。このように言葉には大きな力があり、たった一言でも人を嫌な気分させたり、逆にとても幸せな気持ちにもさせます。

保健室での手当の際の出来事です。けがをした人とお友達と二人で来室しました。

その1.

Aさん「Bちゃんに突然なぐられた!!」

先生「Bちゃん、どうしてなぐったの?」

Bさん「バカって言ったから!!」

先生「Aちゃん、どうしてバカって言ったの?」

Aさん「Bちゃんがちゃんとそうじしてなかったから……」

その2.

Cさん「尻もちをついて頭をぶつけました。」

先生「どうして?」

Dさん「Cちゃんのいすを引いてしまいました。」

先生「なぜ!?!」

Dさん「Cちゃんが他の人の筆箱をいたずらしていたから……」

どうでしょうか?

どちらも、言葉を上手に使っていただけがもせず、仲良く解決できたのにとおもいます。相手に自分の気持ちを言葉で伝えること、簡単そうで難しいですね。イライラしていたり、怒っていたり、恥ずかしかったりすると素直な気持ちを言葉にして伝えられず、無言でぶったり殴ったりする行動や「トゲトゲ言葉」で相手に反発してしまうという結果になりやすいです。そんな時は、一度深呼吸して落ち着いてから、言葉にするといいです。また、普段から自分が言われたらうれしい言葉をたくさん使うようにしたいですね。

スクールカウンセラー来校日

岩崎さん……12、19日、26日

常山さん……10日、19日